

勅語文を奉持―二三歩退きて側に寄り〔正面又は斜に〕生徒衆  
負に向ひ勅語を一戴して之を開き面上に捧けて謹て之を奉讀す  
其勅語と云ふ聲を聴かば生徒衆負身体を正―少―く首を下けて  
謹て之を聴聞すべ―奉讀畢らば之を巻き又一戴して案前に進み  
之を筥に納め一拜して退き更に生徒に向ひ勅語の肯趣を敷演―  
若くば其他教育上の演説等を為―畢て後床す次に撤供昇神を行  
ひ各退出すべ―式日大祭日等に勅語を奉讀するも之に準ずべ―

勅語

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ  
徳ヲ樹ツルコト深厚ナリ我カ臣民克ク忠ニ克  
ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世世厥ノ美ヲ濟セル

ハ是レ我カ國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實  
ニ此ニ存ス爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦  
相和シ朋友相信シ恭儉已ヲ持シ博愛衆ニ及ホ  
シ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ知能ヲ啓發シ徳器ヲ  
成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ関キ常ニ國憲ヲ  
重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ  
以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ斯ノ如キハ  
獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス又以テ爾  
祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン  
斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫

臣民ノ俱ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ謬  
ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト俱ニ  
拳拳服膺シテ咸其徳ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

神職寶鑑下編終

明治三十二年三月五日印刷  
同 三月十日發行

定價金貳圓五拾錢



編輯者兼 發行人 半井真澄  
京都市上京區室町出水北入近衛町廿二番戸  
同市下京區寺町通四條北大文字町十八番戸  
田中治兵衛

彫工 榊原健三  
摺工 高木石松  
製本 本田市次郎

187  
2  
13

